

サンデックス-コンクリート軌道床版防水工法

カチオン性ゴムアスファルト塗布型防水工法

① 概要

従来の営業線における鉄道高架橋、および橋梁などのコンクリート構造物の床版の防水対策は、樹脂系防水材料を使用した工法を取っています。

「サンデックス-コンクリート軌道床版防水工法」では、高粘度ゴムアスファルトを塗布して防水層を形成させるので、入り隅などの複雑な箇所への施工も容易に施工することが出来ます。

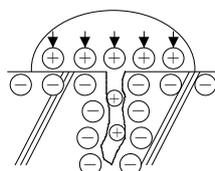
また、特殊な機械を使用することもなく簡易に作業が出来るので、効率的・経済的に防水施工が出来るようになりました。

② 特長

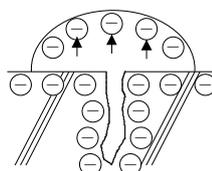
1. カチオン性高濃度ゴムアスファルトエマルジョンなので、従来のアニオン性のゴムアスファルト材料より、優れた接着力を持っており、防水性・耐水性・耐久性の点でも非常に優れています。
2. 下地に多少の湿気があっても施工可能で、乾燥状態と同様に防水層を形成します。
3. シート工法に見られる施工後の重ね部分や端末部からの漏水などの心配もなく、複雑な箇所への施工も容易に施工することが出来ます。

※カチオンの特性

コンクリート表面などはマイナスに荷電しているため、プラスに荷電しているサンデックスが接すると即座に付着・誘着します。その後、時間とともにゲル化、乾燥して防水機能を発揮します。

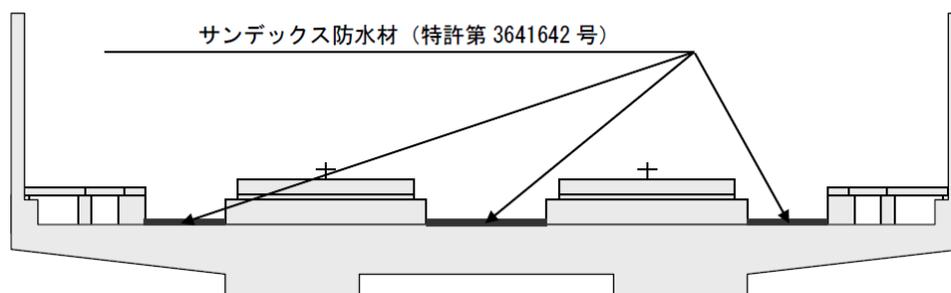


サンデックス (+) の場合



他の市販品 (-) の場合

③ 標準施工断面図



オバナヤ・セメンテックス株式会社

④ 標準施工フローチャート

